

# 2026年度（令和8年度）の研究について

## 1. 研究主題

### 主体的に考え、学びを深める子どもの育成 ～ICTを活用し、児童の「考える」を引き出す指導の在り方について～

## 2. 研究主題設定の理由

現代社会・予測困難な時代に、知識を蓄えるだけではなく、情報活用能力は不可欠であり、未知の課題に立ち向かう主体的な「自ら問いを立て、解決する力」が求められている。加えて、コロナ禍によって社会の在り方や働き方、サービスの在り方等々、あらゆるものに新たな見方・対応の仕方が求められ、スタイルは多様化してきており、それによって価値観は一層複雑化し、先を見通すことが一段と難しくなっている。その中で、子どもたちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極めて再構成し、新たな価値観につなげていくことができるようにすることなどが求められている。

そのためには、児童一人一人の自己肯定感を高め、主体的に学び合う姿勢や多少の困難に行き当たっても諦めずに前向きに努力して進んでいく心のたくましさを育てることが重要と思い、研究を進めてきた。

これまでの研究の成果から、自己肯定感や自己有用感について、多少の困難にぶつかっても前向きに取り組む姿勢がみられるようになり、学習に取り組む姿勢も高まってきた。

しかし一方で、「できた」「やれた」などの成功体験を味わい、「やってみよう」「挑戦してみよう」など主体的に考えて行動する力を伸ばしていくことが今後のであるといえる。加えて、課題に対して自分の考えを模索し、論理的思考を巡らせ説明をするなどの力は、児童の「のびのびアンケート」の結果からも自信がないことが分かった。

そこで、算数科の授業を通し、ICTの「可視化・共有・蓄積」という特性を授業に組み込み、児童の思考を活性化し、互いに学びを深めことができるであろうと考え、本主題を設定した。

## 3. 研究仮説

- (1) ICTを活用した授業づくりを通して、児童が自分の考えをいきいきと表現できる学習活動を充実させることで、主体的に考える子どもが育成できるであろう。
- (2) 児童が自分の考えをもとに、対話的な学習を展開することで、学びを深める子どもが育成できるであろう。

## 4. 研究内容

### 《仮説1研究内容》

- ① 児童の考えを安心して表現できる学習環境の工夫
  - ・学習過程について
- ② 多様な表現方法の工夫
  - ・書く、図で表す、式にする、言葉で説明するなどの表現方法
- ③ ICTを活用した授業の工夫
  - ・児童の考えの段階での活用方法
  - ・児童の表現方法での活用方法

### 《仮説2研究内容》

- ① ICTを活用した対話方法の工夫
  - ・可視化→共有→対話へつなげる方法
- ② 学びを深める学習の展開の工夫
  - ・他者の考えとの比較→検討→再考へつなげる方法
  - ・振り返りを取り入れた学びの深まりを言語化させる方法

5. 研究の全体構造(3 年計画)

【学校教育目標】

◎心ゆさぶる感性：のびのび語り合う子 ◎学び求める知性：ぐんぐん学び合う子 ◎生き方磨く個性：もりもりきたえ合う子

小中9年間でめ  
ざす子ども像

経営の重点

「知・徳・体をバランスよく備えた児童・生徒像の実現」

- 自らの力で人生をデザインできる子ども
- しっかりとコミュニケーションができる子ども
- 地域を愛し、地域の良さを紹介できる子ども

家庭や地域と協働した「楽しい学びの場・自ら学びを深める場の充実」

1. 「好き」や「得意」を伸ばす教育活動の積極的な推進と「深い学び」の確実な現実
2. ICT を活用して学びを深めるための支援の充実
3. 複数の目による一貫した児童への指導の充実
4. WEB QU 等を踏まえた発達支援的な教育活動の充実
5. 個別の教育的ニーズに基づいた支援体制の充実と児童や保護者が相談しやすい体制の整備
6. 幼保小及び小中間における教育課程の内容面での連携強化

《西当別小で育成する子どもの具体的姿》

- ・目標に向かって、何事も前向きに取り組むことができる子
- ・対話を通してより良い解決策を見出すことができる子
- ・自分と他人を肯定的にとらえることができる子
- ・健康づくりのために、運動に親しむことができる子
- ・故郷「当別」のよさを理解し、人に伝えることができる子

主体的に考え、学びを深める子どもの育成

～ICT を活用し、児童の「考える」を引き出す指導の在り方について～

研究仮説

- (1) ICT を活用した授業づくりを通して、児童が自分の考えをいきいきと表現できる学習活動を充実させることで、主体的に考える子どもが育成できるであろう。
- (2) 児童が自分の考えをもとに、対話的な学習を展開することで、学びを深める子どもが育成できるであろう。

研究内容 1

主体的に考える

- ① 学習過程の工夫
- ② 多様な表現方法の工夫
- ③ ICT を活用した授業の工夫

研究内容 2

学びを深める

- ① ICT を活用した対話方法の工夫
- ② 学びを深める学習展開の工夫

研究の土台

学習規律・話す聞くルール・話し合いのルール・振り返りのルール・PC のルール